

読書活動推進計画 平成28年度取組状況

対象：家庭

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
家庭	「家読(うちどく)」の実践	公民館図書室の広報	各「公民館だより」で、公民館図書室「図書コーナー」の紹介や新刊本の案内により、利用を促進する。	公民館だよりで新刊本の案内を継続して行った。 公民館だより「湊のくに」で新刊本の案内を行ったほか、保育園に子ども用の本の新刊図書のお知らせのチラシを配った。 新刊本案内のお知らせを作成し、ロビーや図書室に掲示した。(今年度2回実施) おすすめ図書を選定しポップをつけ展示することで、図書の利用促進を図った。	北公民館 湊公民館 北会津公民館
			大戸公民館報「大戸岳」に、公民館図書室「図書コーナー」の利用方法の紹介や新刊本を掲載し、利用を促進する。	新刊本の配本時にあわせ、公民館報に新刊本の掲載を3回行った。 毎月大戸地区全戸・駅への配布や駅・公民館内掲示(A0版カラー)も行っている。	大戸公民館
			「河東公民館だより」で、公民館図書室「図書コーナー」の紹介や新刊本の案内により、利用を促進した。	・公民館図書室通信～新刊のお知らせ掲載(平成28年10月号) ・図書の予約リクエストサービスの周知(平成28年12月号) ・新刊のお知らせ掲載(平成29年1月号)	河東公民館
			大戸小学校児童等の施設見学时、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	大戸小学校児童の施設見学时、図書コーナーを案内し利用を呼びかけた。また、大戸中学校生徒をボランティアとして受け入れ、図書の除籍や整理を経験してもらい、図書室利用を促した。	大戸公民館
			少年教室「チャレンジ・キッズ」の事業内で公民館図書室について紹介し、図書室利用の促進につなげることで読書の機会をつくっていく。	8月に実施した「公民館に泊まろう」でナイトライブラリを実施。本の借り方など南公民館図書室の案内をし、手づくりのしおりを記念にプレゼントするとともに、自分の好きな本を手にとっての読書の時間を設けた。	南公民館
	「家読(うちどく)」の実践	会津図書館の広報	永和小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	永和小学校児童の施設見学时、図書コーナーを案内し利用を呼びかけた。	北公民館
			一箕小学校児童の「公民館訪問見学」を受け入れる中で、公民館図書室を案内し利用を促進する。	小学校の公民館訪問見学に合わせて公民館図書室を案内し、実際に本を手に取り触れてもらうことで、より身近な施設として親しみをもってもらうことにより利用促進につなげた。	一箕公民館
	「家読(うちどく)」の実践	「家読」の啓発	年齢や様々な言語に応じた本の収集に努めるとともに、就学前の家庭教育講座や、図書館見学、職場体験等の機会をとらえ図書館利用方法について広報していく。	就学前健診時の家庭教育講座において、保護者に対し図書館の利用や「家読」について広報した。 児童の見学の際には、可能な限り図書カードの作成を働きかけ、自動貸出機での貸出を体験してもらい、新規登録者の増加を図った。 中高生徒の職場体験や見学の際には、ティーンズコーナーやおすすめの本リスト等について広報を図った。 見学の受入：22校、1園、2か所(公民館・児童センター) 職場体験の受入：14校 各種健康診査時に図書館利用について掲載したブックリストを配付し、利用促進を図った。	生涯学習総合センター
			「家読のススメ」チラシの発行、図書館だよりやあいつっこニュース等へ、「家読」記事やおすすめの本を掲載し、家読の意義や楽しさについて啓発を図る。	家読の記事を掲載した。(あいつっこニュース春号・子どもとしよかんだより10月号) 「家読のススメ」第4号を発行した。(平成29年3月)	生涯学習総合センター
	「0歳からの絵本スタート」の実践	公民館図書室の環境整備	子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースのほか、ソファや畳敷きのコーナーを設け、子どもたちや乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	2か年でソファや畳敷きのコーナーを設け、子どもと保護者が利用しやすい図書室の整備を行った。 新刊本をブックトラックに別置することで、新刊本が分かりやすい配架とした。 白い絵本などを面出しして興味を喚起した。	大戸公民館
			子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースを確保し、クッションや子ども用の遊具を設置することで、乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	子ども用スペースについては設置が完了した。 読み聞かせに適した本を「おすすめ図書」として季節ごとに選定、掲示した。	北会津公民館
	「0歳からの絵本スタート」の実践	図書室の書架の配置	図書室の書架の配置を変更し、子ども用閲覧スペースを広げたり、気軽に本を手にとれるように新刊本や季節の本をディスプレイするなど公民館図書室を利用しやすいような環境を整える。	書架の配置を変更することで子ども用閲覧スペースを広げた。そこに電気カーペットを敷き、テーブルは温かみのある丸テーブルへ変更したことにより、子ども連れの保護者の利用が見えられた。 また、ディスプレイ専用の棚を設置し、新刊本や季節の本を紹介することで、子どもたちが本を手にとるようになった。	南公民館
			図書室が作成した絵本の年齢別ブックリストを、4か月児・1歳6か月児・2歳6か月児それぞれの健診会場および、7か月離乳食教室の会場において配布し、読書機会や情報を提供する。	年齢別ブックリストの配布 ・4か月健診会場 100% ・1歳6か月健診会場 100% ・3歳6か月健診会場 100% ・7か月離乳食教室会場 100%	健康増進課 生涯学習総合センター(会津図書館)
	「0歳からの絵本スタート」の実践	ブックスタート事業	会津図書館から配本される新刊本を、ブックトラックに別置きし、白い絵本などを面出しして興味を喚起する。	新刊本をブックトラックに別置することで、来館者が分かりやすく、手に取りやすくなった。	大戸公民館
			4か月健診時に乳児と保護者を対象とした、絵本の読み聞かせとともに絵本等を手渡すブックスタート事業を実施し、子育てにおける読み聞かせの重要性の啓発や、子どもの心と言葉の発達等の育成支援、また、家庭で絵本を介した豊かな時間をもつことで安心して子育てができる環境づくりの一助とする。	平成28年8月 ブックスタートを開始。 対象：平成28年4月2日以後に出生した乳児及びその保護者 場所：4か月児健康診査会場 内容：絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの心地よさ、乳児期からの読み聞かせの大切さを保護者に伝えるとともに、絵本や絵本ガイドなどの入った「ブックスタート・バック」の配付を行った。 経過措置：H28年1～3月出生乳幼児を対象に、図書館において絵本の配布を実施した。	子ども家庭課 健康増進課 生涯学習総合センター(会津図書館)
「読書関連イベント」への参加	読み聞かせ(放課後子ども教室事業)	各「放課後子ども教室」事業において、地域の方々の参画を得て、絵本の読み聞かせ、民話等の読み聞かせにより、読書機会を提供する。	放課後子ども教室において全56回中12回、絵本や民話の読み聞かせを、地域の方々のご協力により実施した。 放課後子ども教室が永和小児童と公民館の図書コーナーをつなぐ重要な役割を担っており、学校帰りに図書を手に取りお迎えの父兄とともに利用しているケースが多い。	北公民館	
		小学生を対象とし、図書館の本を利用して調べる学習に取り組み、まとめた作品を募集する。調べるテーマ探しや、調べ方・まとめ方を学ぶ講座を開催するとともに、学校に対してはテーマ別の「学校支援図書セット」を貸し出す等支援し、子どもの主体的に学ぼうとする意欲の醸成と、情報を活用する力の養成に取り組む。	放課後子ども教室推進事業「南チャレンジキッズ」で民話等の読み聞かせとして「かたりべ」を1回、絵本の読み聞かせとして「おはなしのへや」を2回実施した。 また、別日に「自分だけのしおりをつくろう」ということでしおりづくりを行い、読書機会へつなげた。	南公民館	
「読書関連イベント」への参加	読み聞かせ(季節の歳時記教室事業)	季節ごとの歳時を次の世代に継承するための公民館事業において、絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、読書に対するきっかけづくりをする。(会津の伝統行事である「だんごしる」の飾りの下で、その由来について説明したのち、絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。)	7月2日に実施。七夕の飾り付けをした後で、絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びをした。 季節ごとの歳時とそれに関連する絵本・紙芝居を読むことで、本に親しみ、読書のきっかけづくりとした。	東公民館	
		第3回会津図書館を使った調べる学習コンクール	・応募作品 56点 ・受賞作品 9点 ・市長・市議会議長・教育長賞各3点。全国コンクールへの推薦作品2点は、優良賞と奨励賞を受賞 ○推進に向けた取組 ①指導者研修会 6月17日 調べ学習の指導方法を学ぶ研修会。市内小学校教諭・保護者等32名参加 ②調べる学習講座 7月～8月 全4回 調べ学習のテーマ探しや、調べる学習の進め方やまとめ方についての講座を行い、作品作りを行った。 参加者：23名 ③湊小学校出前講座 9月5日(湊小) ④最終審査会 11月9日 ⑤表彰式 11月26日 ⑥大熊町地域コンクールとの合同作品展 3月開催 ※小学校や児童・保護者へ向けた取組により、応募作品数を増加することができた。	生涯学習総合センター(会津図書館) 学校教育課	
「読書関連イベント」への参加	第3回会津ピリオバトル(知的書評合戦)	中高生を対象とし、本を読んで感じた思いや魅力などを紹介し、発表を聞いて一番読みたくなった本に投票することで、読書活動の充実と思考力、表現力の育成とプレゼンテーション能力の向上に取り組む。	12月23日(金・祝)開催 〈決戦〉 中学生の部15:00～15:40 高校生の部15:40～16:30 発表者：中学生12名、高校生11名 観戦者：58名 発表者は本を自分の言葉で紹介し、観戦者の「読みたい気持ち」を引き出すための創意工夫があり、論理的思考力やプレゼンテーション能力の向上が図られた。人から紹介されることで今まで知らなかった本を読んでみたくなったという声も聞かれ、中高生の読書活動の推進が図られた。	生涯学習総合センター(会津図書館)	

家庭	「読書関連イベント」への参加	読み聞かせ事業	①「おはなし会」「かたりべ会」「赤ちゃんおはなし会」様々な絵本や語りに触れ合う機会を提供し、物語の楽しさや興味を広げるきっかけをつくる。また、乳幼児向けのおはなし会では、絵本を介した親子のふれあいの楽しさを伝える。	①毎月定例のおはなし会を開催。 第2・4土曜日 かたりべ会 21回 第1・3木曜日 赤ちゃんおはなし会 24回 毎日曜日 おはなし会 48回	生涯学習総合センター（会津図書館）
			②「季節のおはなし会」 夏・冬・春 絵本や紙芝居の他に、パネルシアターや手遊び、工作など、多様な方法から物語の楽しさを伝え、本への興味を育て、読書へつなげる。	②季節のおはなし会 3回開催。 夏 7月16日(土) 参加：30名 冬 12月3日(土) 参加：34名 春 3月4日(土) 参加：75名	

【指標（数値目標）】

項目	現況値（平成26年度）	実績値（平成28年度）	最終目標値（平成32年度）
「0歳からの絵本スタート」の実施割合	59%		70%
「読み聞かせ」実施の割合 園児 保護者	83%		90%
「家読（うちどく）」実施の割合 小学2年生 保護者	42%		60%
家読（うちどく）実施の割合 中学2年生 保護者	19%		40%

※ 現況値については、平成26年度会津図書館実施アンケートによる数値であり、最終目標値に対する実績値については平成31年度アンケート実施による数値となる。

【指標（数値目標）】

項目	現況値（平成26年度）	実績値（平成28年度）	目標値（平成32年度）
子ども（18歳まで）の登録者の割合	34.2%	37%	40.0%
児童書の貸出冊数	159,279冊	146,236冊	170,000冊
中高校生への貸出冊数	15,110冊	13,572冊	20,000冊

【指標（数値目標）】

項目	現況値（平成26年度）	実績値（平成28年度）	目標値（平成32年度）
子ども（18歳まで）の年間利用人数	1,352人	683人	1,500人
公民館事業で「読み聞かせ」等を取り入れた回数	46回	33回	55回

読書活動推進計画 平成28年度取組状況

対象：保育所・幼稚園・認定こども園等

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
保育所・認定こども園・幼稚園等	保護者等への「読み聞かせ」や「家読」の重要性の広報啓発	「園だより」等による読書活動の推進	お便りにより、保護者や子育て支援参加者に対し、乳幼児期からの「読み聞かせ」の重要性や楽しさを知らせる。	園だより等で絵本の紹介のほか、園での読み聞かせの様子を紹介したり、読み聞かせの大切さ等を掲載し、絵本への親しみや読み聞かせの重要性を知らせた。	こども保育課
		「新たな読み聞かせ」の実施	園児保護者が絵本を定期購入し、園と家庭で同じ絵本を読むなど、効果的な読み聞かせを推進する。	絵本の定期購入や園所有の絵本の家庭への貸出、絵本プレゼント等を行い、家庭での読み聞かせを推進した。また、支援が必要な児童に対し、一対一の対応等も行った。	
		職員研修会の開催	職員研修会において、絵本の重要性について共通理解を図り、家庭における読み聞かせの大切さを伝えていく。	絵本に関する研修会への参加や職員研修を通して、絵本の重要性や読み聞かせの大切さへの共通理解に努めた。	生涯学習総合センター（会津図書館）

【指標（数値目標）】

項目	現況値（平成26年度）	実績値（平成28年）	目標値（平成32年度）
お便りによる読書活動啓発を1年間に4回以上実施した園の割合	49%	42%	75%

読書活動推進計画 平成28年度取組状況

対象：学校

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
学校	「家読(うちどく)」の広報啓発	「ノーマディア・デー」等における時間を読書に当てることや、家族と「家読」をすることについて、学校関係の会議において奨励する。	「ノーマディア・デー」等における時間を読書に当てることや、家族と「家読」をすることについて、学校関係の会議において奨励する。	学校教育指導委員会の学校・家庭連携部会において、メディア視聴をコントロールすることによって、家庭学習や家読の充実を目指し、生活習慣・家庭学習習慣づくりの啓発活動を行った。	学校教育課
		学校図書館の所蔵冊数の充実	学校図書館用の図書購入費について、各校の学級数等に応じた予算配分を行うほか、年に1回蔵書数調べを実施し、所蔵冊数を把握し、所蔵冊数の充実に努める。	学校図書館用の図書購入費について、年度初めに各校の学級数等に応じた予算配分を行った。また、年度末に各校の所蔵冊数や廃棄状況等を把握するため、蔵書数調べを実施。	教育総務課
	学校図書館の活用しやすい環境の整備	学校図書館奉仕員が小中学校図書館を巡回訪問し、司書教諭等に対し、助言、支援を行う。	会津図書館奉仕員が小中学校図書館を巡回訪問し、司書教諭等に対し、助言、支援を行う。	小学校10校、中学校11校、幼稚園1か所も訪問。新たに「学校図書管理マニュアル」を作成し、それに則り図書室管理の助言・支援を行った。	生涯学習総合センター(会津図書館)
		学校図書館の環境充実	図書館ボランティア養成講座を開催し、学校図書館で活動できるボランティアを養成する。	5月～6月全3回の講座を開催。資料の分類・排架、修理・整備、書架サインや展示コーナーの作り方について講義と実演を行った。参加者数：16名(謹教小：4名 鶴城小：2名 川南小：2名 永和小：1名 門田小：3名 日新小：2名 第三中：2名)	生涯学習総合センター(会津図書館)
	「朝読」活動の充実にに向けた取組	「朝読」の推進	各小中学校への「朝読」の時間確保や、記録カード等を利用した内容の充実にに向けた指導を行う。	各小中学校に対し、図書館ボランティア養成講座を受講した学校図書館ボランティアの活用を促す。	学校図書が充実のため、学校図書ボランティアの受け入れと活動の充実に、校長会にて呼びかけるとともに、図書館ボランティア養成講座の参加を呼びかけた。
「朝読」活動の充実にに向けた取組	「朝読」の推進	「朝読」の推進	低学年を中心に12回開催した。	読書推進のための場の確保として、朝読を呼びかけてきたところ、朝読の実施率は小学校94.7%、中学校100%となった。反面、読書カードの活用においては、小学校84.2%中学校27.3%であり、読書内容の記録活動については、充実していない状況である。	湊公民館

【指標(数値目標)】

項目	現況値(平成26年度)	実績値(平成28年度)	目標値(平成32年度)
小中学生の1か月間の平均読書冊数	小学生 11.6冊 中学生 2.6冊	小学生 11.5冊 中学生 2.7冊	小学生 14.0冊 中学生 4.0冊
学校図書館図書標準を達成している学校数	小学校 12/19 中学校 7/11	小学校 15/19 中学校 8/11	小学校 15/19 中学校 10/11
図書館ボランティアが参画している学校数	小学校 9/19 中学校 1/11	小学校 16/19 中学校 3/11	小学校 4/19 中学校 6/11

読書活動推進計画 平成28年度取組状況

対象：支援を必要とするこども・家族

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
障がい児通所施設・養護学校等	「家読(うちどく)」の広報啓発	「家読」の啓発	「家読のススメ」チラシの発行、図書館だよりやあいづっこニュース等への「家読」記事や、おすすめの本を掲載し、「家読」の意義や楽しさについて啓発を図る。	2016年あいづっこニュース春号、こどもとしょかんだより10月号へ、家読の記事を掲載した。また、「家読のススメ」第4号を3月に発行。	生涯学習総合センター(会津図書館)
		一人ひとりに合った「読み聞かせ」等の実施	通所施設を通じて保護者やボランティアへの「読み聞かせ講座」受講を働きかけ、地域において読み聞かせを実施できるボランティアを育成し、活用することで、読み聞かせの機会を提供する。	通所施設や養護学校・聾学校へポスターを配布し、講座の周知を行った。	生涯学習総合センター(会津図書館)
	連携による読書活動の推進	情報交換によるニーズ把握	障がい児通所施設やその利用者の読書に対するニーズを把握し、図書館へ情報提供をしていく。	通所施設における読書活動の状況や図書館利用についての現状を調査し、図書館利用に関するニーズを把握した。	障がい者支援課
		図書館情報の発信	①通所施設等に対し、図書館等の利用や絵本や紙芝居の貸出等について広報していく。 ②通所施設等の利用者に対し、通所施設等を通して、会津図書館利用案内や子ども向けイベント等の情報を発信し、図書館情報を広報する。	①通所施設担当者が集まる会議において、図書館より広報を実施。 ②通所施設から利用者に対して、図書館イベント等のチラシを配布。実際にイベントに参加した利用者もいた。	障がい者支援課 生涯学習総合センター(会津図書館)
	「おはなし会」の開催	通所施設と連携し、おはなし会を開催する。	通所施設等事業所との日程調整ができず、図書館来館のおはなし会を今年度は行わなかった。	生涯学習総合センター(会津図書館)	
養護学校等への移動図書館の運行	県立会津養護学校や県立聾学校会津分校へ月1回移動図書館を運行し、児童生徒に対し読書の機会を提供をする。	移動図書館利用計画に則り、28年度は9回運行を実施した。(8月、冬期除く)			

【指標(数値目標)】

(会津図書館調べ)

項目	現況値(平成26年度)	実績値(平成28年度)	最終目標値(平成32年度)	説明
障がいのある子どもを対象としたおはなし会開催回数	0回	0回	年間6回	図書館等におけるおはなし会の開催回数
子どもと保護者が一緒に読書をした(家読の)割合	51%	平成31年度にアンケートを実施	60%	家庭で子どもと保護者が読書を楽しんだか